

令和6～11年度 情報システム基盤再構築業務委託（長期継続）  
プロポーザル審査要領

1 目的

本書は、令和6～11年度 情報システム基盤再構築業務委託（長期継続）公募型プロポーザルの提案書、機能、見積金額、プレゼンテーションなどの内容に基づき、性能・機能・技術などの要求を評価する審査にかかる要領を定めるものである。

2 開催日時、場所

日時 令和6年6月11日（火） 9時00分～17時00分 ※予定

場所 甲賀市役所 別館1階101会議室 ※予定

方式 プレゼンテーション方式

3 審査対象

「令和6～11年度 情報システム基盤再構築業務委託（長期継続）に関する公募型プロポーザル実施要領」に基づき提出された企画提案書等とする。

4 審査の項目、配点

審査項目（別紙1）を参照し、項目ごとに評価を行う。

5 審査方法

提案者より提出された企画提案書等をもとに、次の方法により最優秀候補者を選定する。

（1）審査方法

審査は、各審査項目について、絶対評価で点数をつける。

（2）契約候補者の選定方法

各審査委員の採点を集計し、獲得点数が最も高い提案者を最優秀候補者に選定する。最高評点を獲得した提案者が複数あった場合は、審査評価基準に基づく価格評価点が高い提案者を最優秀候補者に選定する。

6 審査基準

（1）審査項目

（2）審査の視点

（3）配点及び評価の基準

（4）最低基準点の設定

7 その他

最優秀候補者を優先交渉権者とし、契約締結に向けて交渉する。交渉の結果、契約の締結に至らなかった場合は、次点の提案者を交渉者とする。ただし、評価点数の合計が最低基準点に満たない場合は、優先交渉権者とししない。

## (別紙1) 審査項目

### 1. 評価項目

参加資格審査通過者を対象に、提出書類及びプレゼンテーションを評価対象とし、評価書を用いて評価を行う。各評価項目の配点は下記のとおりとし、審査員1人あたりの合計点数は1,000点とする。

項目	評価対象	配点(満点)
①事業提案評価	企画提案書(様式第6号) 企画提案書 本編(様式任意) 追加提案要求一覧(様式第9号) 会社概要書(様式第3号) 類似業務実績調書(様式第4号) 執行体制調書(様式第5号)	750点
②要求機能評価	機能要望一覧(様式第8号)	100点
③価格評価	見積書(様式第7号) 見積明細書(任意様式)	100点
④プレゼンテーション評価	プレゼンテーション 質疑応答	50点
合 計		1,000点

### 2. 評価方法

審査は、「令和6～11年度 情報システム基盤再構築業務委託(長期継続)プロポーザル審査委員会」(以下「委員会」という。)において実施する。また、前述の評価項目における「①事業提案評価」、「②要求機能評価」、及び「④プレゼンテーション評価」は、委員会の委員による評点をもとに採点を行う。各項目の委員の採点の平均点(小数第2位を四捨五入し小数第1位まで算出)を合計したものを総合評点として計算する。

全ての提案者のプレゼンテーション審査終了後、委員会による審査を行い、最優秀候補者を選定する。

### 3. 評価内容

#### ①事業提案評価

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点(満点)
提案者の業務実績・実施能力	・過去5年以内に公共分野における行政ネットワークの導入・情報系基盤の構築等の実績があるか ・滋賀SCへの接続実績があるか	5～1	×4	20点
従事者の業務実績・実施能力	・本業務を実施できる人員の配置及び体制となっているか ・本業務を実施できる経験とスキルを持つ要員で構成しているか	5～1	×3	15点

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点 (満点)
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の内容・目的を理解しているか</li> <li>地方自治体の実情を把握したうえでの的確な提案となっているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務を円滑に実施できるスケジュールとなっているか</li> <li>スケジュール遅延に対する対策が執られているか</li> <li>プロジェクト管理の方法は妥当であるか</li> <li>本市職員の負担軽減が考慮されているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
ネットワーク				
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定稼働を重視した構成になっているか</li> <li>今後の ICT 技術の導入や設定・構成変更等に柔軟に対応できる構成になっているか</li> </ul>	5~1	×10	50点
ローカルブレイクアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>相応のセキュリティ対策が設計されているか</li> <li>対象とするクラウドやサービスについて具体的な名称、基準が示されているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>妥当なセキュリティ対策が設計されているか</li> <li>障害発生時やマルウェア感染時に職員が一時対応することを想定し、UI の優れた扱いやすいシステムとなっているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>冗長構成を組むなどし、可用性に配慮した提案になっているか</li> <li>ネットワーク・機器等の負荷分散を考慮し、停滞の起こらない提案になっているか</li> <li>ネットワークの移行は、業務に支障が出ない方式となっているか</li> </ul>	5~1	×4	20点
保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築後の保守・管理が容易な提案となっているか</li> <li>オンサイトによる保守対応が迅速に行える提案となっているか</li> <li>ネットワークアセスメントを行い、運用フェーズにおける分析・改善・提案を行える体制があるか</li> </ul>	5~1	×5	25点

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点 (満点)
<b>インターネット</b>				
システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットへの接続が簡便か</li> <li>・UI・UXは優れているか</li> <li>・無害化処理・インターネットセグメントからLGWANセグメントへのファイルの取り出しが簡便か</li> </ul>	5~1	×10	50点
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスの容易なわかりやすい構成となっているか</li> <li>・滋賀SCを理解しているか</li> <li>・妥当なセキュリティを担保しているか</li> </ul>	5~1	×3	15点
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冗長構成を組むなどし、可用性に配慮した提案になっているか</li> <li>・ネットワーク・機器等の負荷分散を考慮し、停滞の起こらない提案になっているか</li> </ul>	5~1	×3	15点
保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築後の保守・管理が容易な提案となっているか</li> </ul>	5~1	×3	15点
<b>メール</b>				
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の意図を理解した提案となっているか</li> </ul>	5~1	×4	20点
<b>無線LAN</b>				
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定稼働を重視した構成になっているか</li> <li>・複雑な論理構成とせず、わかりやすい構成となっているか</li> </ul>	5~1	×10	50点
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当なセキュリティ対策が設計されているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可用性に配慮した提案になっているか</li> <li>・コントローラは扱いやすいものとなっているか</li> </ul>	5~1	×3	15点
保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築後の保守・管理が容易な提案となっているか</li> <li>・オンサイトによる保守対応が迅速に行える提案となっているか</li> </ul>	5~1	×5	25点

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点 (満点)
<b>情報系端末</b>				
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の意図を理解した提案となっているか</li> <li>仕様を上回る提案がされているか</li> <li>職員が業務を遂行する上で、有効な運用となっているか</li> </ul>	5~1	×10	50点
保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>手厚いサポートを提供できる提案となっているか</li> </ul>	5~1	×5	25点
<b>グループウェア</b>				
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>UI・UXに優れ、職員が扱いやすいシステムであるか</li> <li>データ移行が確実にできる提案となっているか</li> <li>運用フェーズにおいて、手厚いサポート体制が整えられているか</li> </ul>	5~1	×4	20点
<b>情報システム基盤</b>				
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定稼働を重視した構成になっているか</li> <li>今後のICT技術の導入や設定・構成変更等に柔軟に対応できる構成になっているか</li> </ul>	5~1	×10	50点
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>妥当なセキュリティ対策が設計されているか</li> <li>機密性の担保の方法は妥当か</li> <li>完全性の担保の方法は妥当か</li> </ul>	5~1	×8	40点
運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>可用性の担保の方法は妥当か</li> <li>インシデントや機器不具合等からの情報復旧が速やかに行える提案となっているか</li> </ul>	5~1	×8	40点
保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築後の保守・管理を目標値を設定するなどし、管理状況を可視化できる提案となっているか</li> <li>定期的にあセスメントのフィードバックを行える提案となっているか</li> <li>全体的に十分なサポート体制を構築できているか</li> </ul>	5~1	×5	25点

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点 (満点)
追加提案				
追加提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容、金額から、実現可能性が高く、かつ職員の業務遂行に有用な提案となっているか</li> <li>オリジナリティのある独自の提案を出し、提案内容、金額から、実現可能性が高く、かつ職員の業務遂行に有用な提案となっているか</li> </ul>	5~1	×8	40点
合計				750点

## ②要求機能評価

機能要望一覧（様式第8号）の各機能要件への対応状況を評価する。

○…5点 △…4~1点 ×…0点

## ③価格評価

価格は、導入・構築費と令和7年1月1日から令和11年12月31日までの5年分の保守運用費の総額とする。

## ④プレゼンテーション評価

項目	評価の着眼点	評点	倍率	配点 (満点)
取り組み姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務に対する理解度が高いか</li> <li>本業務に挑む積極的な姿勢が感じられるか</li> </ul>	5~1	×6	30点
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査員にわかりやすく丁寧に説明し、審査員の理解度をチェックしながら、プレゼンを進めているか</li> <li>専門的な用語でなく、一般的な言葉に置き換えてわかりやすいプレゼンになっているか</li> </ul>	5~1	×2	10点
質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>質疑応答は的確でわかりやすいか</li> <li>説明者は業務の内容・目的を理解し、聞かれた内容に理路整然と回答できているか</li> </ul>	5~1	×2	10点
合計				50点

#### 4. 評価基準

##### ①事業提案評価

評価内容の各項目を5段階で評価し、その結果を集計する。評価区分は下記のとおりとする。

評価	基準
5	要求を大きく上回る水準となっている
4	要求を上回る水準となっている
3	要求を満たしている
2	要求を一部満たしていない
1	要求を満たしていない

※なお、提案されていない項目については評価しない（0点扱いとする）

##### ②要求機能評価

対応内容を3段階に分類し、加点方式で採点を行う。配点は下記のとおりとする。なお、最高点は100点とし、100点以上の加算は行わないものとする。

対応	基準	配点割合等
○	実現可能	5点
△	追加費用で実現可能	4～1点
×	対応できない	0点

##### ③価格評価

以下の計算式で価格評価点を算出する。

$$\text{価格評価点 } 100 \text{ 点} - (\text{見積価格} - \text{最低見積価格}) / (\text{見積限度額} - \text{最低見積価格}) \times 100$$

※小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算出

##### ④プレゼンテーション評価

評価内容の各項目を5段階で評価し、その結果を集計する。評価区分は下記のとおりとする。

評価	基準
5	非常に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや劣る
1	劣る

#### 5. 最低基準点

評価点数の合計が満点の60%に満たない場合は、優先交渉権者とならない。